



## 友好姉妹都市提携締結 20周年

新座市は、令和 5 年 11 月 1 日に、ドイツ連邦共和国ノイルッピン市と友好姉妹都市提携を締結して 20 周年を迎えます。これを記念して、ドイツ出身で市内にお住まいのヘーファー ジャニーン (Janine Hoefer) さんにお話を伺いました！

Q 日本に来たきっかけは何ですか？

A 私は日本とドイツのハーフということもあり、大学で日本学を専攻し、日本に 1 年間留学をしました。その留学先で夫と出会い、大学卒業と同時に日本に移住しました。

Q 日本での生活はどうですか？

A 日本人とドイツ人の性格がよく似ていて、私にとって日本は住みやすく大好きです。

Q ドイツといえばクリスマスというイメージが大きいですが、クリスマスの過ごし方を教えてくださいませんか？

A ドイツではクリスマスは一年の中で一番大事な行事だと言えます。

一番最初に始まるのがクリスマスマーケットです。これは、14 世紀ぐらいからの伝統で、屋台を回りながら家族や友達と一緒にグリューワイン (ホットワイン) を飲んだりソーセージを食べたりしてクリスマスの雰囲気を楽しみます。

クリスマス・イブ (Heiligabend) の 4 週間ぐらい前に 4 つのろうソクが飾ってあるアドベントリースを用意して、その後毎週 1 本ずつろうソクに火を灯し、クリスマス前の最後の日曜に 4 本目の火を灯します。これは、神の無限の愛を象徴する丸い形をしています。

アドベントカレンダーは、クリスマスまでの日数を数えるために使用され、窓を毎日 1 つずつ開けていくものです。1 日から開始し 24 日のクリスマス・イブまでです。窓を開くと、写真やイラスト、詩や物語の一編、チョコレートなどのお菓子、小さなプレゼントなどが入っていることが多いです。また、12 月中は子ども達とお菓子の家やクリスマスクッキーを作ったりします。

クリスマス・イブ当日は、18 時以降に主に生木のヨーロッパモミがドイツトウヒで出来たクリスマスツリーの下に置いてあるクリスマスプレゼントを開けます。イエスが生まれた日なので素朴な食事 (主にポテトサラダとソーセージ) をとります。25 日と 26 日はクリスマスの祭日なので、豪華な食事をとります。

Q ドイツの伝統的なクリスマス料理は何ですか？

A ドイツのクリスマスの伝統的な料理と言ったらガチョウを使ったクリスマスグースと呼ばれる料理です。ガチョウの中には、りんご、くるみ、たまねぎ、スモモなどを入れ、スパイスでコーティングしてオーブンでローストします。

Q ドイツの新年の過ごし方を教えてくださいませんか？

A 年末から新年にかけての過ごし方なのですが、24 日の午後から 26 日までは全てのお店が閉まっているので、散歩したりボードゲームで遊んだり親戚に会いに行ったり、のんびり過ごしています。

27 日から 31 日の昼過ぎまではお店が営業しますが 1 月 1 日は営業しません。2 日からは、普通の平日に戻ります。

お正月は、子供が小さい時は家族と一緒に祝いしますが、高校生になると大体友達とパーティーをして新年を迎えます。

主にビュッフェスタイルの食事やお正月番組、ボードゲームを楽しみながら 0 時になるまで待っています。0 時になったら、シャンパンで乾杯してから外に出て花火を見たりしてお祝いをします。



グリューワイン



アドベントリース



クリスマスクッキー



# ふれあいアラカルト

## フィンランドのクリスマスを楽しもう ～ヒンメリづくりとカンテレコンサート～

令和4年12月10日(土)に、中央公民館にて並木信子委員を講師としてヒンメリづくり講座を開催し、その後、カンテレ奏者のはざた雅子氏のコンサートを楽しみました。「ヒンメリ」とは、令和4年8月に友好姉妹都市提携締結25周年を迎えたユヴァスキュラ市がある、フィンランドの伝統的なクリスマス飾りです。また、今回、日本の代表的なカンテレ奏者である、はざた雅子氏に演奏していただいた楽器「カンテレ」は、フィンランドの民族楽器です。あまり聴く機会がないカンテレの音色に、皆さん熱心に耳を傾けていました。



## 冬を楽しむ～日本のお正月を楽しむ～

令和5年1月14日(土)、西分集会所にて郷土かるたや福笑いをはじめとした日本の昔遊びを楽しむイベントを開催しました。小さなお子さんから大人まで、委員が工夫を凝らして準備した昔遊びを楽しんでいる様子でした。また、イベントの最後にはお土産としてつくたてのお餅を配布し、おうちで美味しく召し上がっていただきました。



## 4年振りに牡丹祭りが開催されます！

日時：令和5年4月29日(土)  
場所：新座市総合運動公園内新座牡丹園  
NIFAでは、食品を販売する予定です。  
お手伝いいただける方は、事務局までご連絡ください！

## 中国の節句ー清明節・端午節ー

清明節(せいめいせつ)は、旧暦元旦から105日目、すなわち3月の春分の日から15日目に当たる日(現在は4月4日か5日)に先祖の墓参りをする日です。この日は戦国時代晋国が起源の「寒食節」(温かい食物を避けること)のなごりで、あらかじめ作った菜(おかず)を小麦粉製の皮で包み野外で食べる風習がありました。これが日本に伝来して「春巻」となりました。

端午節(たんごせつ)は、旧暦5月5日、五と午が音が同じなので「端午」といいます。伝説では楚国の重臣屈原が、進言を聴かない王に絶望して汨羅(べきら)江に身を投げ、それを悼んだ人々が米を茅に包んで川に投げ入れました。ちまきの始まりです。現在では、中国北部はなつめ入り、南部は肉入りのちまきを食べます。  
文：池間 里代子

## 済源市の位置する中国北部のちまきの作り方

- 1 もち米(お好みで粟などの雑穀を少々)を洗い、一晩水ごと冷蔵庫で寝かします。笹の葉は、あらかじめ水につけて熱湯で2～3分火を通しておきます。
- 2 もち米の水を切り、笹の葉に入れます。途中でなつめや小豆を入れ、最後に米を入れ漏斗状に成型したら、風糸でしっかり縛ります。
- 3 水を沸騰させ、中火で3時間ほど茹でます。
- 4 串を刺し、中を確認して鍋から上げ、1時間ほど湯を切ります。
- 5 お好みで白砂糖をかけて召し上がれ！

## 編集後記

コロナ感染者数は過去最大にも関わらず、様々な催し物が徐々に復活してきた昨今です。状況に即した一人一人の自己判断が必要となりました。

新座市国際交流協会は、他国の人も、仲良く交流することを目的に活動する団体です。これからも交流の輪を広げられるよう、活動してまいります。

西田 裕

## 新規入会・会員更新のお願い

会員の皆様には、会員登録の更新をお願いします。令和5年度の会費を郵便局(同封の振込用紙にて振込)又は事務局窓口でお納めください。

なお、新規会員も随時募集しています。お気軽に事務局までお問い合わせください。

会員区分	会費
個人	—□ 1,000円
団体	—□ 5,000円
法人	—□ 10,000円